

沖縄と共に戦争に反対する 6・23平和の集い

～軍隊は民衆を守らない～

日時 2023年6月23日(金) 慰霊の日 18:00開場 18:30開会

場所 大阪市北区民センター ホール

地下鉄堺筋線「扇町」駅 2号B出口北へ3分・JR環状線「天満」駅 西へ3分 北区役所隣

講師 前泊 博盛 さん (沖縄国際大学教授)

プログラム

- 前泊さん講演(リモート)
いくさば
演題「島々を戦場にさせない」
- 慰霊の日・沖縄からのビデオメッセージ
- 音楽



資料代 **500**円 (金銭的に厳しい方はお申し出ください)



主催 沖縄と共に戦争に反対する平和の集い実行委員会
実行委員長: 森口あおい (日本キリスト教団牧師)

連絡先 TEL 090-6766-0363

MAIL heiwanotsudo2023@gmail.com



78年目の「慰霊の日」

沖縄と共に戦争に反対する 6・23平和の集い ～軍隊は民衆を守らない～

参加と賛同の呼びかけ

ウクライナでの戦争をも口実にして、日本政府は「安全保障環境の変化」を宣伝し、「朝鮮半島有事」や「台湾有事」が煽られています。石垣島には3月に新たな駐屯地が完成し、ミサイルが搬入されました。中国を仮想敵とする自衛隊の南西シフトでは、与那国島、石垣島、宮古島、奄美大島や馬毛島に自衛隊基地を建設し、ミサイル部隊の配備が進められています。沖縄島では米軍基地の負担軽減どころか、民意を無視した辺野古新基地建設は止まらず、やんばるの森に残された米軍軍事廃棄物の撤去もなされていません。それに加えてうるま市の勝連分屯地に自衛隊ミサイル部隊を置く計画が持ち上がっています。

一方、岸田政権は「安保関連3文書」（「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」）を改訂し、また防衛費を今後5年間に43兆円も使うことを決定しました。「専守防衛」の建前をもかなぐり捨て、「敵基地攻撃能力（先制攻撃能力）」を持って、日本が「戦争ができる国」「戦争をする国」になろうとしています。しかしミサイル部隊を沖縄に配備することで、戦場になるのは沖縄の島々です。狭い島々のいたるところ、ミサイルの雨が降ることになります。住民は逃げることはできません。これは78年前の沖縄戦の再来です！また10万人、20万人の住民が戦争に巻き込まれ、命を落とすことになるのです！絶対にこんなことを繰り返してはなりません！

沖縄の人びとはこの情勢に対し、「沖縄戦を繰り返さない」と声を上げています。その一つが“争うよりも愛しなさい”を掲げた「島々を戦場にするな！沖縄を平和発信の場に2・26緊急集会」です。沖縄戦を体験した90代の高齢者から若者まで、1600人もの方が集い、那覇市内で集会とデモ行進を行いました。

ひるがえって「本土」の、関西に住む私たちはどうでしょうか？辺野古新基地建設や自衛隊配備について「中国との国境にあるので仕方がない」と当然視し、あるいは遠く離れた沖縄のことだから関係ないと、基地が沖縄にあることを自明のこととして考えたり、あるいは「無関心」を決め込んではいないでしょうか？これは沖縄に対する差別です。そして再び戦争を起こし、沖縄戦を繰り返すことにつながります。

だから私たちは、78年目の沖縄「慰霊の日」に、沖縄の人びとの声をしっかりと聞き、戦争と基地建設に反対する集いを企画しました。現地とビデオメッセージで結ぶとともに、前泊博盛さん（沖縄国際大学教授）のリモート講演を聞いて、一人ひとりが何をすればよいか、共に考え、行動するための集会です。

一人でも多くの個人、団体の本集会への参加と賛同を呼びかけます。

賛同金

個人：一口1,000円 団体：一口2,000円

ゆうちょ振込口座番号 00920-4-274497 加入者名「辺野古へ行こう」

※払込手数料のご負担をお願いします

※払込書の通信欄に、お名前公表の可否をご記入ください

個人で賛同された方からは、当日の資料代はいただきません。